

## クルーズサマリー

### 1. 航海情報：

(1) 航海番号：KY14-05

(2) 船舶名：かいよう

(3) 航海名称 (実施要領書名)：平成 26 年度 所内利用「海溝軸からアウターライズにおける地震観測及び IODP 関連調査 (関東アスペリティプロジェクト)」

(4) 首席研究者 (所属機関)：三浦誠一 (海洋研究開発機構)

(5) 課題代表研究者 (所属機関)：

課題 1：小平秀一 (海洋研究開発機構)

課題 2：斎藤実篤 (海洋研究開発機構)

(6) 研究課題名：

課題 1：海溝型巨大地震・巨大津波：実態解明に向けた地質・地球物理調査研究、海溝軸からアウターライズにおける地震観測

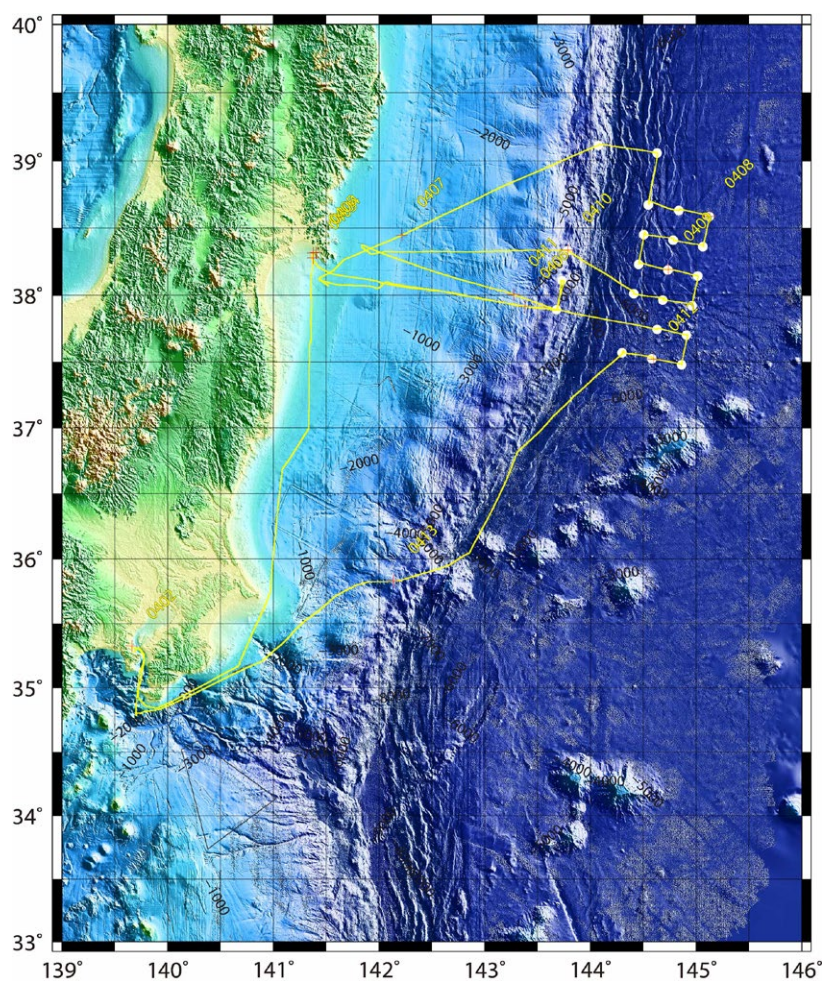
課題 2：IODP 関連事前・事後調査 関東アスペリティプロジェクト

(7) 航海期間：平成 26 年 4 月 2 日～4 月 14 日

(8) 出港地～寄港地～帰港地：横須賀～横須賀

(9) 調査海域名：日本海溝、伊豆小笠原

(10) 船舶の航跡図：



## 2. 実施内容：

### (1) 調査概要：

平成 26 年度所内研究課題「海溝型巨大地震・巨大津波：実態解明に向けた地質・地球物理調査研究 5. 海溝軸からアウターライズにおける地震観測」として、平成 25 年 8 月に深海調査研究船「かいれい」により、日本海溝域に設置された海底地震計の回収を行った。

また平成 26 年度所内研究課題「IODP 関連事前・事後調査 2. 関東アスペリティプロジェクト」として、伊豆・小笠原において、マルチチャンネル反射法地震（MCS）探査システムを用いた反射法地震調査を実施する予定であったが、天候不良等のため実施できなかった。

### (2) 実施項目：

#### 1) 海底地震計(OBS)の回収作業

音響切り離し・自己浮上による長期観測型 OBS の回収作業を行った。

#### 2) 海底地形

航海中は海底地形を連続して実施した。海底地形は SEABEAM2100 によって観測した。

#### 3) XBT

海底地形調査の音速補正用に XBT を 1 箇所を実施した。